

平成21年度入学者
(2009)

岐阜大学大学院教育学研究科
学生募集要項

平成20年7月

岐阜大学大学院教育学研究科

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL (058)293-2206・2356
教育学研究科ホームページ <http://www.ed.gifu-u.ac.jp>

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

【教育目標】

本研究科は、教育に関する学術の理論及び応用の教授研究に基づき、高度な資質と実践能力を備えた教育専門職者及び教育関係者を養成するとともに、教育専門職者への再教育により教育専門職者の資質の向上に資することをとおして教育文化の発展に寄与していくことを目的としています。

【求める学生像】

本研究科は、学校教育に深い関心のある人、学術の理論と教育との関係について関心のある人、教科の背景となる専門領域の学問を深めることに意欲を持つ人を求めます。

加えて、教職大学院課程では、新しい学校づくりの有力な一員、地域の中核、学校の中堅としてのスクールリーダー養成を目指し、学部段階での基礎的な教職能力を更に発展させ、新しい学校づくりの有力な一員としての応用力を求める学部生や、地域の中核・学校の中堅として、学校改善、授業開発及び教育臨床開発のための実践力を求める現職教員等を求めます。

目 次

	ページ
1 入学者選抜関係日程	1
2 専攻別募集人員	2
3 出願資格	3
4 出願手続	4
5 入学者選抜方法（試験日時及び場所等）	6
6 配点	14
7 入学者選抜試験の合否判定における欠格基準	14
8 合格者発表	14
9 入学手続	15
10 入学料及び授業料	15
11 個人情報の取り扱いについて	15
12 障害のある者の出願に当たっての事前相談	15
13 夜間・遠隔教育における教育方法の特例措置について	16
14 長期履修学生制度について	19
15 修業年限短縮の特例について	19
16 大学院生の学部開講科目の受講について	19
17 入試統計	20
18 その他（本学への交通機関等）	22
教育学研究科案内	
I 新設の教職実践開発専攻（教職大学院課程）及び心理発達支援専攻の概要	24
II 研究科の履修方法	25
III 研究科の授業科目	25
IV 修士論文題目例	26
V 教育職員免許状	31

添付書類 出願書類一式（綴じ込み）

1 入学者選抜関係日程

出願期間	平成20年9月16日（火）～9月24日（水） 持参の場合：午前9時から午後4時30分まで受付 （ただし土日祝日は除く。） 郵送の場合：9月24日（水）午後4時30分までに必着
試験日	平成20年10月11日（土）〈全専攻の入学試験〉 平成20年10月12日（日）〈心理発達支援専攻（臨床心理学 コース）のみ2段階選抜の第2 日目とする〉 会場：岐阜大学教育学部
合格者発表	平成20年10月17日（金）午前10時 場所：岐阜大学教育学部玄関
入学手続	平成21年2月13日（金）～14日（土）

（備考）

本要項の「3 出願資格」の(3)及び(8)に該当する者における、個別の入学資格審査関係日程は以下のとおりである。

出願期間	平成20年8月25日（月）～28日（木） 持参の場合：午前9時から午後4時30分まで受付 郵送の場合：8月28日（木）午後4時30分までに必着
資格審査の結果通知	平成20年9月12日（金）までに合否を通知

障害のある者の出願に当たっての事前相談期限

相談の期限	平成20年8月20日（水）
-------	---------------

2 専攻別募集人員

一般選抜及び派遣教員・現職教員等

専攻	コース・専修	分野	募集人数
教職実践開発	学校改善コース	学校経営, 学校改善	20人
	授業開発コース	授業研究・実践的指導方法, 教育課程の編成・実施	
	教育臨床実践コース	生徒指導, 教育相談, 学級経営	
	特別支援学校コース	特別支援学校経営・授業研究, 特別支援教育コーディネーター研究	
心理発達支援	臨床心理学コース	臨床心理学	9人
	学校心理学コース	教育心理学, 発達心理学	
	特別支援教育コース	障害児心理, 障害児病理, 障害児教育	
カリキュラム開発	カリキュラム開発	カリキュラム開発, 教育システム開発, 学習情報開発	7人
教科教育	国語教育	国語科教育, 国語学, 国文学, 漢文学	30人
	社会科教育	社会科教育, 歴史, 地理, 法律, 政治, 社会学, 哲学	
	数学教育	数学科教育, 代数学, 幾何学, 解析学	
	理科教育	理科教育, 物理学, 化学, 生物学, 地学	
	音楽教育	音楽科教育, 器楽, 声楽, 作曲, 音楽学	
	美術教育	美術科教育, 絵画, 彫刻, デザイン, 工芸, 美術理論・美術史	
	保健体育	保健体育科教育, 体育学, 運動学, 学校保健	
	技術教育	技術科教育, 電気, 機械, 情報, 木材加工	
	家政教育	家庭科教育, 被服学, 食物学, 住居学, 家庭経営学, 保育学	
英語教育	英語科教育, 英語学, 英米文学		
合計			66人

注) 1 募集人員には, 外国人留学生若干人を含む。

2 募集人員には, 岐阜県教育委員会及び岐阜大学教育学部附属小・中学校の推薦を受けた現職教員の受入れ枠を含む。

3 カリキュラム開発専攻カリキュラム開発専修については, このほかに, 現職教員及び社会人等を主たる対象として, 募集人員3人の第2次学生募集 [試験日は, 平成21年2月14日(土)を予定]を実施する。

4 大学の学部第3年次学生を対象とする飛び級による学生の本研究科入学者選抜試験日は, 平成21年2月14日(土)を予定している。

(1) 夜間・遠隔教育について

本学大学院教育学研究科は, 教職実践開発専攻, 心理発達支援専攻, カリキュラム開発専攻及び教科教育専攻の4専攻からなり, うち, 教職実践開発専攻を除く3専攻については, 昼・夜開講により学生を受け入れている。夜間・遠隔授業等により単位を履修することを志望する者を対象に, 一部の授業科目について飛騨地区(高山市), 東濃地区(多治見市), 西濃地区(大垣市), 各務原市, 熊本市及び岐阜大学教育学部附属学校(岐阜市)の各サテライト教室並びにインターネット接続された機器等を備えた自宅等においても授業を履修できる。(13 夜間・遠隔教育における教育方法の特例措置について(16ページ)参照)

夜間・遠隔授業を志望する者は, 受講を希望するサテライト教室等名又はインターネット接続された機器等を備えた自宅等及び連絡先のE-mailアドレスを志願票に明記すること。

「インターネット接続の自宅等」での受講を希望する者は、インターネット接続された機器等が遠隔授業の履修に十分な性能を備えていることが条件であり、履修に障害がある場合は学生の責任で十分な性能の機器等を備えなければならない。志望にあたっては、下記のWebページを参照して機器等の性能を確認しておくこと。

岐阜大学大学院教育学研究科インターネット型遠隔教育：<http://www.ed.gifu-u.ac.jp/~kyoiku/eee/>

(2) 心理発達支援専攻「臨床心理学コース」について

- ① このコースの募集は、将来「臨床心理士」資格を得ることを目的として、「臨床心理学コース」の単位を修得し、大学院を修了することを希望する者を対象とする。
- ② 本研究科は、心理発達支援専攻「臨床心理学コース」を修了した者が、「臨床心理士」の受験資格を得ることができるよう、財団法人日本臨床心理士資格認定協会により、第1種指定大学院として指定を受けている。
- ③ 「臨床心理学コース」の授業科目は、昼間のみ開講であり、岐阜大学教室においてのみ履修が可能である。
また、在学期間中は、学内外における実習活動が平日に義務付けられる。
- ④ 他専攻・他専修・他コースからの転コースは認めていない。

(3) 各専攻・専修等の履修方法等の詳細については、25ページに記載したとおりである。

3 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

なお、教職実践開発専攻出願者は、教員免許状を取得（見込みを含む）している者又は本研究科が教員免許状を取得している者と同等とみなす者を前提条件とし、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成21年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成21年3月までに授与される見込みの者
- (3) 学校教育法第102条第2項の規定により本学大学院又は他大学の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（注参照）
- (4) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成21年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成21年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成21年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成21年3月31日までに22歳以上に達する者
（これによる入学資格審査の出願手続は、以下のとおりである。）

① 資格審査のための出願期間

平成20年8月25日（月）～ 28日（木）

提出書類持参の場合の受付は、午前9時から午後4時30分までとする。

郵送の場合も8月28日（木）午後4時30分までに必着のこと。

〔書類提出は、「出願書類提出先」（6ページ参照）に同じ。〕

② 提出書類

ア 履歴書（本要項の「志願票」裏面並びに表面に記入のこと）

イ 最終学校の成績証明書及び卒業証明書（3ヶ月以内に発行されたもの）

※ 外国において発行される証明書等には、日本語訳を添付すること。また公証人による公証書が必要となる場合があるので、事前に出願書類提出先へ確認すること。

ウ 研究内容実績（官公庁及び企業等の所属長が証明したもの）

任意様式（A4サイズ）

エ 大学院入学希望の動機・目的を記した書類

任意様式（A4サイズ）

オ 大学院で希望する学習、研究分野及びテーマを記した書類

任意様式（A4サイズ）

カ 大学卒業程度以上の学力に相当すると、自ら評価した理由書

任意様式（A4サイズ）

※ 具体的な職務内容及び職務中に上げた業績、受講した講習・通信教育並びに取得した資格・免許等を述べる中で、大学卒業程度以上の学力に相当していると考え理由を示すこと。

③ 審査方法等

提出書類に基づき、書類審査を行う。

④ 資格審査の結果は、平成20年9月12日（金）までに受験者へ学務係より通知する。

（注）(3)により出願しようとする場合は事前審査が必要ですので、(8)の資格審査に準じて手続を行うこと。

4 出願手続

(1) 出願期間

平成20年9月16日（火）～9月24日（水）

持参の場合の受付は、午前9時から午後4時30分までとする。

（ただし、土日祝日は除く。）

郵送の場合は、9月24日（水）午後4時30分までに必着のこと。

(2) 出願書類

出 願 書 類	提出該当者	注 意 事 項
入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票 試 験 場 座 席 番 号 票	全 員	本学所定の用紙による。
履 歴 書		本学所定の用紙による。（入学志願票の裏面）
電 算 処 理 原 票		本学所定の用紙による。
研 究 計 画 書		本学所定の用紙による。
成 績 証 明 書		最終学校の長等の作成したもの。
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	全 員 〔出願資格(2) 該当者を除く〕	出身大学の学長又は学部長若しくは最終出身学校の長等が作成したもの。
学位授与証明書又は学位授与見込証明書	出 願 資 格(2) 該 当 者 の み	大学評価・学位授与機構が発行したもの。
教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	心理発達支援専攻、カリキュラム開発専攻、教科教育専攻に出願する者で、出願資格(7) 該当者のみ	免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。

出願書類	提出該当者	注 意 事 項
教育職員免許状授与証明書	教職実践開発専攻に出願する者で、免許状既取得者	免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。 ※免許状の既取得者はこちらを提出すること。
教育職員免許状取得見込証明書	教職実践開発専攻に出願する者で、免許状取得予定者	在籍する大学の学長または学部長等が作成したもの。 ※平成21年3月末取得予定者はこちらを提出すること。
教育実践論文・研究業績等報告書	教育関係経験者のみ（B入試志願者）	「B入試（派遣教員・現職教員等選抜）」を希望する者は、実践論文・記録等のうち主要なもの5点以内の原本又は写しを添えて、本学所定の用紙にその概要を記入して提出すること。
受験承諾書	大学院在学者及び現職教員等	本学所定の用紙による。他の大学院に在学中の者は、学長又は研究科長が作成したもの。現に官公庁、学校、会社等に在職している者で、現職のまま入学を希望する者は所属長が作成したもの。
推薦書	岐阜県教育委員会及び附属小中学校からの派遣教員のみ	岐阜県教育委員会又は岐阜大学教育学部附属小・中学校長が作成した推薦書。 <u>任意様式（A4サイズ）</u>
楽曲申告書	音楽教育専修の当該志願者	選択科目（器楽A、器楽B、声楽）の選択者のみ、本学所定の用紙により提出すること。 （選択科目によっては楽譜の提出もあるので注意すること）
検定料		30,000円
納入書	全 員	同封の納入書〔太枠の中（3か所）に氏名等必要事項を記入したもの〕等を持って、検定料を最寄りの銀行で振込み、振込み後は「納入書」を出願書類に同封すること。（振込手数料はご負担願います）なお、この検定料の振込みは、「電信扱」となっているので、出願期間最終日での振込みは午前中までに行うこと。（午後の取扱いができない銀行があるので注意すること）また、「検定料振込金（兼手数料）受取書」は本人が大切に保管しておくこと。
外国人登録原票記載事項証明書	外国人のみ	居住地の市区町村長が発行したもの。
日本語能力試験1級の合格証明書	教職実践開発専攻に出願する外国人	日本国際教育支援協会が発行したもの。
あて名シール		本学所定の用紙による。
返信用封筒	全 員	本学所定の封筒に郵便切手560円分を貼り、受信場所、本人の氏名を記入すること。

備 考

- 1 証明書は、3ヶ月以内に発行されたものとする。
- 2 提出書類中、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を必ず添付すること。
※外国において発行される成績証明書、卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書等については、公証人による公証書が必要となる場合があるので、事前に出願書類提出先へ確認すること。
- 3 受理した出願書類等は返還しない。ただし、実践論文・記録等の原本については返却する。
- 4 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。
 - a 出願書類が受理されなかった場合
 - b 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
 - c 検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合
 上記に該当する場合は、早急に出願書類提出先へ連絡すること。
 なお、返還請求に際しては、「岐阜大学検定料振込金（兼手数料）受取書」が必要になるので、

大切に保管しておくこと。

- 5 国費外国人留学生である者は、事前に出願書類提出先へ申し出ること。

(3) 出願書類提出先

出願しようとする者は、出願書類を一括で取り揃え、本学所定の封筒に入れ、下記に提出すること。
郵送の場合は、配達記録郵便・速達とすること。

【〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学教育学部学務係 TEL 058-293-2206・2356】

5 入学者選抜方法

入学者の選抜方法は、A入試（一般選抜）又はB入試（派遣教員・現職教員等選抜）のいずれかとする。

入 試 区 分		選 抜 方 法（詳細については本項を確認してください）
A 入 試	（一般選抜）	筆記試験等、口述試験及び成績証明書の結果を総合して行う。
B 入 試	（現職教員等選抜）	筆記試験等、口述試験、教育実践論文・記録、その他教育実践がはかり得る諸書類及び成績証明書の結果を総合して行う。
	（派遣教員）	口述試験、教育実践論文・記録、その他教育実践がはかり得る諸書類及び成績証明書の結果を総合して行う。

（備考）

- 1 「教育関係経験者（*）」は、A入試又はB入試（現職教員等選抜）のいずれかを選択し、受験するものとする。入試区分は事前に出願書類の入学志願票で申告すること。

（*）岐阜県教育委員会及び岐阜大学教育学部附属小・中学校から派遣される現職教員を除く

- 2 「岐阜県教育委員会及び岐阜大学教育学部附属小・中学校から派遣される現職教員（**）」に対するB入試は、「筆記試験」「小論文」の代わりに、教育実践論文・記録及びその他教育実践がはかり得る書類をもってこれらに充て、「口述試験」のみとする。

（**）大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨等に基づく、岐阜県教育委員会又は岐阜大学教育学部附属小・中学校長から推薦を受けた者

(1) 試験日時及び場所等

試 験 日 平成20年10月11日（土）

教職実践開発専攻、心理発達支援専攻、カリキュラム開発専攻及び教科教育専攻

平成20年10月12日（日）

心理発達支援専攻の臨床心理学コースのみ、2段階選抜として口述試験を実施する。口述試験の実施に当たって、心理発達支援専攻の募集定員から臨床心理学コースに配分される人数の3倍程度までを、前日の筆記試験の結果により選抜し、その受験資格者のみに対して実施する。

なお、受験資格者については、10月12日（日）の午前9時に教育学部玄関に掲示する。

試 験 場 岐阜大学教育学部

試験日程

平成20年10月11日（土）

専攻	コース	入試区分	筆記試験		口述試験
教職実践開発	学校改善 授業開発 教育臨床実践 特別支援学校	A入試	必須科目（英語）	9:00～10:00	13:30～
			必須科目（専門）	10:15～11:15	
			選択科目	11:30～12:30	
		B入試	小論文	9:00～10:00	
			必須科目（専門）	10:15～11:15	
			選択科目	11:30～12:30	

平成20年10月11日（土）

専攻	コース	入試区分	筆記試験		口述試験
心理発達支援	学校心理学	A入試	必須科目（英語）	9:00～10:00	13:30～
			必須科目（専門）	10:15～12:15	
		B入試	小論文	9:00～10:00	
			必須科目（専門）	10:15～12:15	
	特別支援教育	A入試	必須科目（専門）	9:00～10:00	
			選択科目	10:10～11:10	
			必須科目（英語）	11:20～12:30	
		B入試	必須科目（専門）	9:00～10:00	
			小論文	11:20～12:30	

平成20年10月11日（土）・12日（日）

専攻	コース	入試区分	筆記試験		口述試験
心理発達支援	臨床心理学	A入試	必須科目（英語）	10月11日（土） 9:00～10:00	10月12日（日） 9:30～
			必須科目（専門）	10月11日（土） 10:15～12:15	

平成20年10月11日（土）

専攻	専修	入試区分	筆記試験等		口述試験
カリキュラム 開発	カリキュラム 開発	A入試	必須科目（英語）	9:00～10:20	13:30～
			必須科目（専門）	10:40～12:30	
		B入試	小論文	9:00～10:20	
			必須科目（専門）	10:40～12:30	

平成20年10月11日（土）

専攻	専修	入試区分	筆記試験等		口述試験
教科教育	国語教育	A入試	必須科目（専門）	9：00～12：30	13：30～
			必須科目（英語）		
			選択科目		
		B入試	必須科目（専門）	9：00～12：30	
			小論文		
			選択科目		
	社会科教育	A入試	必須科目（専門）	9：00～10：00	
			必須科目（英語）	10：15～11：15	
			選択科目	11：30～12：30	
		B入試	必須科目（専門）	9：00～10：00	
			小論文	10：15～11：15	
			選択科目	11：30～12：30	
	数学教育	A入試	必須科目（専門）	9：00～11：20	
			選択科目		
			必須科目（英語）		
		B入試	必須科目（専門）	9：00～11：20	
			選択科目		
	理科教育	A入試	必須科目（専門）	9：00～12：30	
			必須科目（英語）		
			選択科目		
B入試		必須科目（専門）	9：00～12：30		
		小論文			
		選択科目			
音楽教育	A・B入試	9：00～〔試験時間の詳細は、A入試の別表1（11ページ）又はB入試の別表2（13ページ）を参照〕			
美術教育	A入試	必須科目（英語）	9：00～10：10		
		必須科目（専門）	10：20～11：20		
		選択科目	11：30～12：30		
	B入試	小論文	9：00～10：10		
		必須科目（専門）	10：20～11：20		
		選択科目	11：30～12：30		

専攻	専修	入試区分	筆記試験等		口述試験
教科教育	保健体育	A 入試	必須科目(専門)	9:00～10:00	13:30～
			選択科目	10:15～11:15	
			必須科目(英語)	11:30～12:30	
		B 入試	必須科目(専門)	9:00～10:00	
			選択科目	10:15～11:15	
			必須科目(英語)	11:30～12:30	
	技術教育	A 入試	必須科目(専門)	9:00～11:00	
			選択科目		
			必須科目(英語)	11:30～12:30	
		B 入試	必須科目(専門)	9:00～11:00	
			選択科目		
			必須科目(英語)	11:30～12:30	
	家政教育	A 入試	選択科目(専門)	9:00～10:40	
			必須科目(英語)	10:50～12:30	
			必須科目(小論文又は英語)	11:30～12:30	
		B 入試	選択科目(専門)	9:00～10:40	
			小論文	10:50～12:30	
			必須科目(英語)	11:30～12:30	
	英語教育	A 入試	必須科目(専門)	9:00～10:00	
			選択科目	10:15～11:15	
			必須科目(英語)	11:30～12:30	
B 入試		必須科目(専門)	9:00～10:00		
		選択科目	10:15～11:15		
		必須科目(小論文又は英語)	11:30～12:30		

- 注) 1 試験室は、当日教育学部玄関の掲示で確認すること。
2 受験者は、試験開始10分前までに入室、着席すること。
3 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻30分以内に限り、受験を認める。
4 試験時間中は、必ず受験票を机の上に置くこと。

(2) 学力試験科目

A 入試（一般選抜用）

専攻	コース・専修	試験科目	
		筆記試験（音楽教育専修のみ実技試験を含む。）	口述試験
教職実践開発	学校改善コース	必須科目 教育学, 英語	志望理由、研究計画、専門分野における経験、知識、適性などについて問う。
	授業開発コース	選択科目 学校経営学, 授業開発, 教育臨床学,	
	教育臨床実践コース 特別支援学校コース	特別支援教育のうちから1科目選択	
心理発達支援	臨床心理学コース	心理学（臨床心理学を含む）, 英語	
	学校心理学コース	心理学一般, 英語	
	特別支援教育コース	必須科目 障害児教育概論, 英語 選択科目 障害児教育学, 障害児心理学, 障害児病理学のうちから1科目選択	
カリキュラム開発	カリキュラム開発	・カリキュラム開発共通（広くカリキュラム開発に関わる基礎的知識・素養を確認する問題） ・英語	
教科教育	国語教育	必須科目 国語科教育, 英語 選択科目 国語科教育学, 国語学, 国文学, 漢文学のうちから1科目選択 （いずれも辞書持込み不可）	
	社会科教育	必須科目 社会科教育, 英語 選択科目 歴史学, 地理学, 法律学, 政治学, 社会学, 哲学, 社会科教育学のうちから1科目選択	
	数学教育	必須科目 数学及び数学教育（詳細は注5）, 英語 選択科目 数学科教育学, 代数学, 幾何学, 解析学（応用数学, 統計学を含む。）のうちから1科目選択	
	理科教育	必須科目 理科教育, 英語 選択科目 理科教育, 物理学, 化学, 生物学, 地学のうちから1科目選択	
	音楽教育	必須科目 音楽科教育 選択科目 音楽科教育学, 音楽学, 作曲, 器楽A（ピアノ）, 器楽B（管楽器）, 声楽のうちから1科目選択（詳細は別表1）	
	美術教育	必須科目 図工・美術科教育, 英語 選択科目 美術科教育学, 絵画論, 彫刻論, デザイン論, 工芸論, 美術理論及び美術史のうちから1科目選択	
	保健体育	必須科目 保健体育科教育学, 英語 選択科目 体育学, 運動学, 学校保健のうちから1科目選択	
	技術教育	必須科目 教科専門分野（技術科教育法, 工業科教育法, 木材加工, 金属加工, 機械, 電気, 情報基礎）に関する基礎学力を確認する問題, 英語 選択科目 技術科教育法, 木材加工, 機械, 電気, 情報基礎のうちから1分野選択	
	家政教育	必須科目 英語 選択科目 家庭科教育, 被服学, 食物学, 住居学, 家庭経営学, 保育学のうちから1科目選択	
英語教育	必須科目 英語教育学, 英語 選択科目 英語学又は英米文学 （いずれも辞書持込み不可）		

- 注) 1 選択科目については、志願者が出願書類の入学志願票であらかじめ申告するものとする。
 2 必須科目の英語については、辞書（電子辞書は不可）の持込みを可とする。
 ただし、英語教育専修の受験者は辞書の持込みを不可とする。
 3 外国人留学生の場合、必須科目の英語については、日本語の試験を行うこととする。
 その際、辞書（電子辞書は不可）の持込みを可とする。
 ただし、国語教育専修の受験者は辞書の持込みを不可とする。
 4 外国人留学生の場合、日本語の試験以外の筆記試験科目でも辞書の持込みを可とする。
 ただし、試験当日の筆記試験開始前または開始直後に、監督教員が辞書を点検し、使用の可否を判断する。使用を認められた辞書を、筆記試験の時間中（9時～12時30分）に、他の辞書に取り替えることは認めない。
 なお、使用を許可できる辞書には次の条件を科すので、辞書の選択に十分注意すること。
 a 日本語の読み書きを補助する辞書に限り、使用を許可する。
 b 辞書の書名が特定の専門分野に対応している辞書及び事典類は、使用を許可しない。
 c 電子辞書は、使用を許可しない。
 d その辞書が、試験内容に対して不公正な情報を与えると試験を行う専攻・専修等が判断した場合は、その辞書の使用を許可しない。
 5 数学（線型代数、微分積分学、群論、集合論）及び数学教育の一般的基礎的事項についての素養を確かめる問題。
 6 心理発達支援専攻の臨床心理学コースと学校心理学コースの試験科目は、コースにより異なる。
 7 美術教育専修志願者で制作活動をしている場合は、口述試験の際に作品又はその写真資料等を持参すること。

音楽教育専修学力試験（一般選抜）について

別表1

試験科目・実技		試験時間
必須科目	音楽科教育	9:00～10:20
選択科目	以下6科目から1つを選択 (1) 音楽科教育学 (2) 音楽学 (3) 作曲 (4) 器楽A(ピアノ) (5) 器楽B(管楽器) (6) 声楽	10:50～12:30 (3) 作曲の試験時間のみ、 10:50～12:50(休憩40分) 13:30～15:30の計4時間
	口述試験	13:30～ (3) 作曲を選択した者は、実技試験終了後に行う。

試験内容の詳細

試験科目	試験内容
必須科目	
音楽科教育	音楽教育に関する基礎的・一般的内容
選択科目	
(1)音楽科教育学	音楽教育に関する専門的内容
(2)音楽学	音楽学に関する内容
(3)作曲	①これまでに作曲した作品（編曲作品でも可）1曲の楽譜を出願時に提出のこと。 ②和声の試験を行う。なお、実施に当たりピアノの使用は認めない。 試験課題：ソプラノ課題・バス課題 各1題 試験時間：合計4時間 試験範囲：ソプラノ課題 転調・借用和音・諸和音・内部変換・反復進行・構成音の転位・偶成和音・保続音等を含む課題までを範囲とする。 バス課題 前述の範囲に加え、階梯導入や2個の主題を持つ課題までを範囲とする。
(4)器楽A(ピアノ)	・任意の独奏曲を暗譜演奏のこと。 ・演奏時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。
(5)器楽B(管楽器)	・任意の管楽器の独奏曲（協奏曲を含む）を暗譜演奏のこと。 ・演奏時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。 ・伴奏者が必要な曲の場合は、各自同伴すること。 ・演奏曲のソロパートの楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。
(6)声楽	・任意の声楽曲を暗譜演奏のこと。 ・演奏時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。 ・各自伴奏者を同伴すること。

B入試（派遣教員・現職教員等選抜用）

専攻	コース・専修	試験科目	
		筆記試験（音楽教育専修のみ実技試験を含む。）	口述試験
教職実践開発	学校改善コース 授業開発コース 教育臨床実践コース 特別支援学校コース	必須科目 教育学，小論文 選択科目 学校経営学，授業開発，教育臨床学，特別支援教育のうちから1科目選択	志望理由、研究計画、専門分野における経験、知識、適性などについて問う。
	学校心理学コース 特別支援教育コース	心理学一般，小論文 必須科目 障害児教育概論，小論文 選択科目 障害児教育学，障害児心理学，障害児病理学のうちから1科目選択	
カリキュラム開発	カリキュラム開発	・カリキュラム開発共通（広くカリキュラム開発に関わる基礎的知識・素養を確認する問題） ・小論文	
教科教育	国語教育	必須科目 国語科教育，小論文 選択科目 国語科教育学，国語学，国文学，漢文学のうちから1科目選択	
	社会科教育	必須科目 社会科教育，小論文 選択科目 歴史学，地理学，法律学，政治学，社会学，哲学，社会科教育学のうちから1科目選択	
	数学教育	必須科目 数学及び数学教育（詳細は注4） 選択科目 数学科教育学，代数学，幾何学，解析学（応用数学，統計学を含む。）のうちから1科目選択	
	理科教育	必須科目 理科教育，小論文 選択科目 理科教育，物理学，化学，生物学，地学のうちから1科目選択	
	音楽教育	必須科目 音楽科教育 選択科目 音楽科教育学，音楽学，作曲，器楽A（ピアノ），器楽B（管楽器），声楽のうちから1科目選択（詳細は別表2）	
	美術教育	必須科目 図工・美術科教育，小論文 選択科目 美術科教育学，絵画論，彫刻論，デザイン論，工芸論，美術理論及び美術史のうちから1科目選択	
	保健体育	必須科目 保健体育科教育学 選択科目 体育学，運動学，学校保健のうちから1科目選択	
	技術教育	必須科目 教科専門分野（技術科教育法，工業科教育法，木材加工，金属加工，機械，電気，情報基礎）に関する基礎学力を確認する問題 選択科目 技術科教育法，木材加工，機械，電気，情報基礎のうちから1分野選択	
	家政教育	必須科目 小論文 選択科目 家庭科教育，被服学，食物学，住居学，家庭経営学，保育学のうちから1科目選択	
英語教育	必須科目 英語教育学，小論文 選択科目 英語学又は英米文学 （いずれも辞書持込み不可）		

- 注) 1 選択科目については、志願者が出願書類の入学志願票であらかじめ申告するものとする。
 2 英語教育専修の受験者は辞書の持込みを不可とする。
 3 外国人留学生の場合、筆記試験科目での辞書の持込みを可とする。
 ただし、試験当日の筆記試験開始前または開始直後に、監督教員が辞書を点検し、使用の可否を判断する。使用を認められた辞書を、筆記試験の時間中（9時～12時30分）に、他の辞書に取り替えることは認めない。
 なお、使用を許可できる辞書には次の条件を科すので、辞書の選択に十分注意すること。
 a 日本語の読み書きを補助する辞書に限り、使用を許可する。
 b 辞書の書名が特定の専門分野に対応している辞書及び事典類は、使用を許可しない。
 c 電子辞書は、使用を許可しない。
 d その辞書が、試験内容に対して不公正な情報を与えると試験を行う専攻・専修等が判断した場合は、その辞書の使用を許可しない。
 4 数学（線型代数、微分積分学、群論、集合論）及び数学教育の一般的基礎的事項についての素養を確かめる問題。
 5 美術教育専修志願者で制作活動をしている場合は、口述試験の際に作品又はその写真資料等を持参すること。

音楽教育専修学力試験（派遣教員・現職教員等選抜）について

別表 2

試験科目・実技		試験時間
必須科目	音楽科教育	9:00～10:20
選択科目	以下6科目から1つを選択 (1) 音楽科教育学 (2) 音楽学 (3) 作曲 (4) 器楽A(ピアノ) (5) 器楽B(管楽器) (6) 声楽	10:50～12:30
	口述試験	13:30～

試験内容の詳細

試験科目	試験内容
必須科目	
音楽科教育	音楽教育に関する基礎的・一般的内容
選択科目	
(1)音楽科教育学	音楽教育に関する専門的内容
(2)音楽学	音楽史を中心に音楽学に関する内容
(3)作曲	①これまでに作曲した作品（編曲作品でも可）1曲の楽譜を出願時に提出のこと。 ②簡単な和声の試験を行う。なお、実施に当たりピアノの使用は認めない。 試験課題：ソプラノ課題・バス課題 各1題 試験時間：合計1時間40分
(4)器楽A (ピアノ)	・任意の独奏曲を暗譜演奏のこと。 ・演奏時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。
(5)器楽B (管楽器)	・任意の管楽器の独奏曲（協奏曲を含む）を暗譜演奏のこと。 ・演奏時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。 ・伴奏者が必要な曲の場合は、各自同伴すること。 ・演奏曲のソロパートの楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。
(6)声楽	・任意の声楽曲を暗譜演奏のこと。 ・演奏時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。 ・各自伴奏者を同伴すること。

(3) B入試（派遣教員・現職教員等選抜）を希望する者は、「教育実践論文・研究業績等報告書」に記載した教育実践論文・記録又は各専門分野に関わる論文・研究報告等の主要なもの（原本又は写し）5点以内を提出すること。

提出の対象となるものは次のとおりとする。

- ① 研究報告（地区研究会、県・文部科学省等の指定研究発表会、小・中・高の教科等研究会での研究報告）
- ② 著書、論文（学会誌、研究機関等の研究紀要、その他雑誌等に掲載された論文）
- ③ 翻訳、辞書、事典類の項目執筆
- ④ その他教育実践又は研究の成果を示す記録、資料等

6 配 点

専 攻	コース・専 修	A 入 試 試 験 科 目				B 入 試 試 験 科 目			
		筆記試験 (音楽教育専修のみ 実技試験を含む。)			口述試験	筆記試験 (音楽教育専修のみ 実技試験を含む。)		小論文等	口述試験
		必 須		選 択		必 須 専 門	選 択		
		専 門	英 語						
教職実践 開 発	学校改善コース 授業開発コース 教育臨床実践コース 特別支援学校コース	100	100	100	100	100	100	100	100
心理発達 支 援	臨床心理学コース	200	100	—	100	—	—	—	—
	学校心理学コース	200	100	—	100	200	—	100	100
	特別支援教育コース	100	100	100	100	100	100	50(50)	100
カリキュラム 開 発	カリキュラム開発	200	100	—	100	200	—	100	100
教科教育	国 語 教 育	100	100	100	100	100	100	100	100
	社 会 科 教 育	100	100	100	100	100	100	100	100
	数 学 教 育	100	100	100	100	100	100	—	100(100)
	理 科 教 育	50	100	150	100	50	150	100*	100
	音 楽 教 育	200	—	100	100	100	100	—	200*
	美 術 教 育	100	100	100	100	100	100	100	100*
	保 健 体 育	100	100	100	100	100	100	(100)	100
	技 術 教 育	100	100	100	100	100	100	(100)	100
	家 政 教 育	—	150	150	100	—	150	150	100
英 語 教 育	100	100	100	100	100	100	100	100	

(注) (1) A入試・B入試のいずれも試験科目の計は、400点満点である。

(2) () 内は、教育実践論文・記録等の配点を示す。

(3) *印の配点には、教育実践論文・記録等の配点を含む。

7 入学者選抜試験の合否判定における欠格基準

6に示してある「配点」表について、各試験科目の得点が、1科目でも満点の30パーセント未満の受験者は、不合格とする。

8 合格者発表

- (1) 日 時 平成20年10月17日(金) 午前10時
- (2) 場 所 岐阜大学教育学部玄関
- (3) 発表方法 合格者の受験番号を掲示する。

合格通知書は、教育学部学務係で受験票を確認の上、入学手続関係書類とともに交付するので、受験票を持参すること。都合により当日、来学できなかった合格者には、合格通知書を入学手続関係書類とともに郵送する。

(注) 不合格者には結果通知を郵送しません。電話等による照会には一切応じません。

9 入学手続

平成21年2月13日（金）・14日（土）

平成21年2月初旬に「入学手続案内」を送付する。

この期間に入学手続をしなかった者は、本研究科への入学の意志がなく、入学を辞退したものとみなす。

10 入学料及び授業料（平成20年度入学生の例）

入 学 料 282,000円

授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）

（注）授業料納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

その他：学生教育研究災害傷害保険の加入金

11 個人情報の取り扱いについて

提出された志願票等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、入試情報処理システムに登録されますが、本学は、志願票等及び登録された個人情報を、責任をもって管理・保管します。

そして入学試験業務終了後は、この個人情報を、次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはなく、また、第三者に開示することはありません。なお、第三者とは、本学入試業務担当者のうち、個人情報に接する必要がある者以外の者とします。

- (1) 合格者について、入学手続きに必要なデータを使用する場合
- (2) 入学者について、学生証の作成、カリキュラム登録、成績管理等、本人が大学生活をする上で必要な事務処理にデータを利用する場合
- (3) 入学者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合（ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者とし、公表する場合は個人識別ができない状態で行います。）
- (4) 本人の同意が得られた場合
- (5) 法令等により開示が求められた場合

12 障害のある者の出願に当たっての事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある志願者で、受験上及び修学上特別の措置を希望する者は、出願に先立ち本研究科に相談する必要がある。

相談の期限及び方法等は次のとおりである。

(1) 相談の期限

平成20年8月20日（水）まで

(2) 相談の方法

次の事項について本学所定の用紙（障害者等受験・修学上の特別措置申請書）に医師の診断書又は身体障害者手帳（写）を添付し、岐阜大学教育学部学務係に提出する。

本学所定の用紙の主な記入事項は、次のとおりである。

- ① 障害の種類・程度
- ② 受験上特別の措置を希望する事項
- ③ 修学上特別の措置を希望する事項
- ④ 学校でとられていた特別の措置

⑤ 日常生活の状況

なお、本研究科が必要とする場合、志願者又は関係者との面談等を行うことがある。

(3) 本学所定の用紙の請求方法

障害者受験・修学上の特別措置申請書の用紙を請求する場合は、郵便番号、住所、氏名を記入し、80円の切手を貼った「返信用封筒（長形4号・20.5cm×9cm）」を同封して、送付用封筒の表に「障害者受験・修学上の特別措置申請書請求」と朱書きし、下記へ申し込む。

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

岐阜大学教育学部学務係〈電話 058-293-2206・2356〉

(4) 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合は、その際に相談する。

13 夜間・遠隔教育における教育方法の特例措置について

現職教員等に対して、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例及び同設置基準第15条（大学設置基準第25条等準用）に定める授業の方法の趣旨に基づき、現職教員等が大学院教育を受ける機会を広げるため、教育方法の特例を実施する。

各専攻・専修等の開講形態と遠隔教育の方法は次のとおりである。

専攻	コース・専修	開講形態	遠隔教育
教職実践開発	学校改善コース 授業開発コース 教育臨床実践コース 特別支援学校コース	昼	—
心理発達支援	臨床心理学コース	昼	—
	学校心理学コース	昼夜	I型
	特別支援教育コース	昼夜	—
カリキュラム開発	カリキュラム開発	昼夜	II型
教科教育	国語教育	昼夜	—
	社会科教育	昼夜	III型
	数学教育	昼夜	III型
	理科教育	昼夜	III型
	音楽教育	昼夜	—
	美術教育	昼夜	III型
	保健体育	昼夜	III型
	技術教育	昼夜	III型
	家政教育	昼夜	III型
英語教育	昼夜	—	

遠隔教育	教育方法	開講授業	受講できる教室等
I 型	サテライト型	夜間	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学教室 ・サテライト教室： 飛騨地区（高山市）、東濃地区（多治見市）、西濃地区（大垣市）、各務原市、岐阜大学附属学校（岐阜市）
II 型	サテライトまたはインターネット型のいずれかを選択	夜間	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学教室 ・サテライト教室： 飛騨地区（高山市）、東濃地区（多治見市）、西濃地区（大垣市）、各務原市、岐阜大学附属学校（岐阜市）、熊本（熊本市） ・インターネット接続の自宅等： インターネット接続された機器等を備えた自宅等
III 型	インターネット型	夜間	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学教室 ・インターネット接続の自宅等： インターネット接続された機器等を備えた自宅等

(1) 開講形態及び時間

① 夜間授業の開講

第6時限	第7時限
18:00～19:30 (夜間第1時限)	19:40～21:10 (夜間第2時限)

夜間授業が主となる現職教員等に対しては、岐阜大学、サテライト教室及びインターネット接続の自宅等において受講することができる。

② 昼間授業の開講

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40

勤務の都合で昼間授業を受講することもできるが、岐阜大学においてのみの開講である。

③ 土・日曜日及び夏季休業等開講

一部の授業科目を土・日曜日、夏季休業中に遠隔授業で開講する。また大学へ通学可能な夏季休業時等は、大学へ行き受講することもできる。

(2) 遠隔教育の方法

岐阜大学とサテライト教室及びインターネット接続された機器等を備えた自宅等とをテレビ会議システムやインターネット等による双方向通信で授業を行う。

① 夜間及び遠隔教育を実施する専攻・専修等とサテライト教室等

専攻	コース・専修	岐阜大学	サテライト教室						インターネット接続の自宅等
			(飛騨高山市)区	(多治見市)区	(西濃垣市)区	各務原市	熊本市	岐阜大学教育学部附属学校	
教職実践開発	学校改善コース 授業開発コース 教育臨床実践コース 特別支援学校コース	—	—	—	—	—	—	—	—
心理発達支援	臨床心理学コース	—	—	—	—	—	—	—	—
	学校心理学コース	○	○	○	○	○	—	○	—
	特別支援教育コース	○	—	—	—	—	—	—	—
カリキュラム開発	カリキュラム開発	○	○	○	○	○	○	○	○
教科教育	国語教育	○	—	—	—	—	—	—	—
	社会科教育	○	—	—	—	—	—	—	○
	数学教育	○	—	—	—	—	—	—	○
	理科教育	○	—	—	—	—	—	—	○
	音楽教育	○	—	—	—	—	—	—	—
	美術教育	○	—	—	—	—	—	—	○
	保健体育	○	—	—	—	—	—	—	○
	技術教育	○	—	—	—	—	—	—	○
	家政教育	○	—	—	—	—	—	—	○
英語教育	○	—	—	—	—	—	—	—	

② 夜間・遠隔授業の標準的な時間割・開講曜日

専攻	コース・専修	1年次				2年次			
		前学期		後学期		前学期		後学期	
		6時限	7時限	6時限	7時限	6時限	7時限	6時限	7時限
心理発達支援	学校心理学コース	火曜日				木曜日			
カリキュラム開発	カリキュラム開発	水曜日				金曜日			
教科教育	社会科教育	火曜日				水曜日			
	数学教育	火曜日				木曜日			
	理科教育	水曜日				金曜日			
	美術教育	火曜日				木曜日			
	保健体育	火曜日				木曜日			
	技術教育	水曜日				金曜日			
	家政教育	火曜日				木曜日			

注) 1 各コース・専修の専門科目は、上表に示すように週1日の6・7時限目に夜間・遠隔授業により開講することを標準とする。これ以外に、下記2～4の方法により科目を開講する。

2 土曜日、日曜日及び夏季休業中等の昼間に遠隔の集中講義を開講する。

- 3 夏季休業中等に岐阜大学教室においてのみ開講する集中講義がある。この履修に際しては、岐阜大学に通学する必要がある。
- 4 学位論文の審査及び最終試験は岐阜大学教室において実施する。
- 5 授業時間割等に変更する場合がある。この場合は教育学研究科掲示板等で通知する。(遠隔教育履修者には教育支援システムにて通知する。)

14 長期履修学生制度について

大学院設置基準の一部改正（平成14年3月28日施行）により、学生が職業を有しているなどの事情により、研究科の標準修業年限の2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨申し出たときは、その計画的な履修を認めることができることになり、本学でもこの制度を導入している。

なお、通常、授業料は年額535,800円で、標準修業年限で修了する場合には、2年間分（1,071,600円）が必要となるが、前述の履修方法が認められた学生の授業料の年額は、2年間分の授業料（1,071,600円）を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で除した額となる。

15 修業年限短縮の特例について

岐阜大学大学院学則の規定に基づき、所定の単位を修得し、学位を授与されるための研究計画等において特に優れた業績が認められる者の修業年限は、標準修業年限2年のところ、1年又は1年6月に短縮することができる。

16 大学院生の学部開講科目の受講について

大学院生は必要に応じて、学部講義等を受講することができる。

17 入 試 統 計

専修	領域	平成16年度一次募集								平成16年度二次募集								入学者数合計		
		募集人員	A入試				B入試				募集人員	A入試				B入試				
			志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数		合格者数	入学者数
学校教育	教育学	11	3	3	2	2	4	4	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	5	
	教育心理学		7	7	6	6	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	8	
	学校臨床心理学		38	37	6	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	
カリキュラム開発	—	10	2	2	2	2	5	5	5	5	3	2	2	2	2	4	4	4	3	12
障害児教育	—	3	4	4	4	3	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	5	
国語教育	—	38	2	2	1	1	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3	
社会科教育	—		6	5	3	3	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	
数学教育	—		4	4	3	3	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	5	
理科教育	—		9	8	8	7	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	8	
音楽教育	—		4	4	4	3	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	3	
美術教育	—		0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
保健体育	—		1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
技術教育	—		1	1	0	0	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
家政教育	—		1	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
英語教育	—		1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
合計			62	83	79	41	36	22	22	21	21	3	2	2	2	2	4	4	4	3

専修	領域	平成17年度一次募集								平成17年度二次募集								入学者数合計		
		募集人員	A入試				B入試				募集人員	A入試				B入試				
			志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数		合格者数	入学者数
学校教育	教育学	11	2	1	0	0	3	3	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	
	教育心理学		8	7	5	5	4	4	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	9	
	学校臨床心理学		36	32	8	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	
カリキュラム開発	—	7	3	3	2	1	6	6	6	6	3	1	1	1	1	0	0	0	0	8
障害児教育	—	3	4	4	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
国語教育	—	38	1	1	0	0	2	2	2	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	2
社会科教育	—		3	3	3	3	1	1	1	1		1	1	1	1	0	0	0	0	5
数学教育	—		5	5	4	4	0	0	0	0		3	3	1	1	0	0	0	0	5
理科教育	—		7	4	4	3	1	1	1	1		3	3	3	3	0	0	0	0	7
音楽教育	—		3	3	3	3	0	0	0	0		1	1	1	1	0	0	0	0	4
美術教育	—		1	1	1	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1
保健体育	—		4	2	1	1	1	1	1	1		0	0	0	0	0	0	0	0	2
技術教育	—		2	2	2	2	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	2
家政教育	—		0	0	0	0	1	1	1	1		1	1	1	1	0	0	0	0	2
英語教育	—		2	1	1	1	0	0	0	0		1	1	0	0	1	1	1	1	2
合計			59	81	69	36	32	20	20	20		20	13	11	11	8	8	1	1	1

専修	領域	平成18年度一次募集								平成18年度二次募集								入学者数合計		
		募集人員	A入試				B入試				募集人員	A入試				B入試				
			志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数		合格者数	入学者数
学校教育	教育学	11	1	1	1	1	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
	教育心理学		2	2	2	2	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	
	臨床心理学		41	36	8	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	
カリキュラム開発	—	7	2	2	1	1	9	9	8	8	3	0	0	0	0	2	2	2	2	11
特別支援教育	—	3	1	1	1	1	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
国語教育	—	38	1	1	0	0	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
社会科教育	—		4	4	4	3	2	2	2	2		—	—	—	—	—	—	—	—	5
数学教育	—		0	0	0	0	1	1	1	1		—	—	—	—	—	—	—	—	1
理科教育	—		10	10	9	7	1	1	1	1		—	—	—	—	—	—	—	—	8
音楽教育	—		1	1	1	1	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	1
美術教育	—		5	5	5	5	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	5
保健体育	—		3	3	3	2	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	2
技術教育	—		1	0	0	0	2	2	2	2		—	—	—	—	—	—	—	—	2
家政教育	—		0	0	0	0	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	0
英語教育	—		2	2	2	2	1	1	1	1		—	—	—	—	—	—	—	—	3
合計			59	74	68	37	32	21	21	20		20	3	0	0	0	0	2	2	2

専修	領域	平成19年度一次募集								平成19年度二次募集								入学者数合計		
		募集人員	A入試				B入試				募集人員	A入試				B入試				
			志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数		合格者数	入学者数
学校教育	教育学	11	4	4	4	3	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	
	教育心理学		5	5	3	3	4	4	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	7	
	臨床心理学		37	35	8	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	
カリキュラム開発	—	7	1	1	1	1	16	16	16	15	3	0	0	0	0	2	2	2	2	18
特別支援教育	—	3	3	3	2	1	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
国語教育	—	38	0	0	0	0	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
社会科教育	—		4	4	4	4	3	2	1	1		—	—	—	—	—	—	—	—	5
数学教育	—		7	7	7	7	2	2	1	1		—	—	—	—	—	—	—	—	8
理科教育	—		8	8	8	8	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	8
音楽教育	—		3	3	3	3	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	3
美術教育	—		4	4	3	3	3	3	2	2		—	—	—	—	—	—	—	—	5
保健体育	—		6	5	4	4	3	3	3	3		—	—	—	—	—	—	—	—	7
技術教育	—		1	1	1	1	1	1	1	1		—	—	—	—	—	—	—	—	2
家政教育	—		2	2	2	2	1	1	1	1		—	—	—	—	—	—	—	—	3
英語教育	—		0	0	0	0	1	1	1	1		—	—	—	—	—	—	—	—	1
合計			59	85	82	50	46	39	38	35		34	3	0	0	0	0	2	2	2

専攻・専修	領域	平成20年度一次募集								平成20年度二次募集								入学者数 合計				
		募集 人員	A入試				B入試				募集 人員	A入試				B入試						
			志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数		志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	受験 者数		合格 者数	入学 者数		
教職実践開発	—	20	10	9	8	8	14	14	14	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	
学校教育	教育心理学	6	2	2	2	2	3	3	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	
	臨床心理学		35	33	8	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	
特別支援 教育	—	3	2	2	2	2	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
カリキュラム 開発	—	7	2	2	2	2	2	2	2	2	6	2	2	2	2	3	3	3	3	3	9	
国語教育	—	30	2	2	2	2	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	
社会科教育	—		1	1	1	0	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
数学教育	—		5	5	4	4	1	1	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
理科教育	—		5	5	5	4	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
音楽教育	—		3	3	3	2	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
美術教育	—		2	2	2	2	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
保健体育	—		6	2	2	2	2	2	2	2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
技術教育	—		2	2	2	2	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
家政教育	—		4	4	4	4	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
英語教育	—		1	1	1	1	0	0	0	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計		66	82	75	48	43	23	23	22	22	6	2	2	2	2	3	3	3	3	3	70	

備考

- ・カリキュラム2次募集人員は3人の予定だったが、1次で募集人員を満たさなかったため、3人増の6人となった。
- ・学校教育専攻、特別支援教育専攻の志願者数等は、心理発達支援専攻の統計資料として置き換える。

外国人留学生（教育学研究科）〈募集人員：若干人〉

入試年度	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	備 考 [入学者の専修別内訳：()内は、入学者数を示す。]
平成16年度	15	15	12	12	学校教育(2), 社会科教育(1), 数学教育(1), 理科教育(2), 美術教育(1), 保健体育(2), 英語教育(3)
平成17年度	9	8	6	6	理科教育(1), 家政教育(2), 英語教育(3)
平成18年度	10	10	8	8	理科教育(2), 家政教育(1), 英語教育(5)
平成19年度	11	11	7	6	学校教育(1), 数学教育(1), 理科教育(1), 英語教育(3)
平成20年度	18	18	8	7	社会科教育(1), 理科教育(2), 美術教育(2), 保健体育(1), 英語教育(1)

18 そ の 他

- (1) 出願書類を郵送で請求する場合は、返信用封筒（角形2号・縦33.2cm×横24.0cm）に240円分の切手を貼り、住所・氏名・郵便番号を記入し、これを折りたたんで「教育学研究科募集要項請求」と朱書きした定形の封筒に入れ、下記へ請求すること。
- (2) 過去の入学試験における学力試験問題は、本学教育学部学務係にて閲覧することができる。
- (3) 出願書類の請求及び学生募集に関する問合せは、下記あてに行うこと。

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

岐阜大学教育学部学務係 電話 058-293-2206・2356

教育学研究科案内

I 新設の教職実践開発専攻（教職大学院課程）及び心理発達支援専攻の概要

【教職実践開発専攻】

本専攻は、新しい学校づくりの有力な一員、地域の中核、学校の中堅としてのスクールリーダーの養成を目的としています。このため、学部段階での基本的な教職能力をさらに発展させ、新しい学校づくりの有力な一員としての応用力を求める学部新卒生、さらに地域の中核や学校の中堅として学校改善や授業開発・教育臨床開発のための実践力を求める現職教員等を対象とします。教職に関する理論と実践の融合による教育課程を編成し、多様な課題を解決することができる高度な実践力と応用力を与え、学校教育実践を自ら開発する力量をもつ教育専門職（スクールリーダー）を養成します。本専攻は、次の4コースで編成します。

教員免許状については、学校改善、授業開発及び教育臨床実践コースは、教員免許状の課程認定を受けた科目の必要単位数修得で、幼・小・中・高校及び養護教諭専修免許状の取得が可能です。また、特別支援学校コースは、特別支援学校教諭専修免許状の取得が可能です。

学校改善コース… 学校改善のための技法を修得し、スクールリーダーとしてのマネジメント力の形成を目的とします。

授業開発コース… 授業改善や教育課程改善のための戦略と技法を修得し、エクセレントティーチャーとしての授業力の形成を目的とします。

教育臨床実践コース… 教師自身が学級担任の立場から教育臨床問題を解決するための理論と技法を修得し、教育臨床実践家としての力量と資質の向上を目的とします。

特別支援学校コース… 特別支援学校における特別支援教育を推進していくための理論と技法を修得し、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターとして勤務校内及び地域の幼・小・中・高校の要請に応じた支援ができる力量の形成を主たる目的とします。

【心理発達支援専攻】

本専攻は、心理発達支援に関する高度の専門的知識及び技術を修得し、心理発達支援的な課題を有する子どもやその関係者の相談ならびに連携・支援に応じることができるスクールカウンセラー、特別支援教育に携わる教員やコーディネーター等の養成を目的とし、次の3コースで編成します。

なお、学校心理学コースは昼夜間開講・夜間遠隔授業を行い、特別支援教育コースは授業を昼夜間開講することで、現職教員が働きながら学ぶことができ、その専門性向上に役立っています。

教員免許状については、臨床心理学及び学校心理学コースは、教員免許状の課程認定を受けた科目の必要単位数修得で、幼・小・中・高校及び養護教諭専修免許状の取得が可能です。また、特別支援教育コースは、特別支援学校教諭専修免許状の取得が可能です。

臨床心理学コース… 被虐待、不登校、いじめ、発達障害、言語障害等の特別な支援を必要としている幼児児童生徒やその親等への支援をするための理論と技法を修得し、有能なスクールカウンセラーとして働くことができる高度職業専門人としての臨床心理士の養成を目的とします。なお、本コースは、臨床心理士の養成カリキュラムに対応しています。

学校心理学コース… 学校生活での諸問題について、子どもへのカウンセリングなどによる直接的援助を行うとともに、保護者や教師、学校に対しても心理発達の支援を行い、予防的・発達開発的な支援をするための理論と技法を修得します。学校心理士としての高度な専門性の形成を目的とし、この心理的支援を志す者や現職教員が働きながらでも学べるように、夜間開講を充実させたコースです。

特別支援教育コース… 幼・小・中・高校及び特別支援学校における特別支援教育を推進していくための理論と技法を修得し、教育実践や特別支援教育コーディネーターとしての支援ができる力量の形成を主たる目的とします。なお、本コースは学校心理士の養成カリキュラムにも対応しています。

II 研究科の履修方法

指導教員の指導に基づき、下記の履修基準に従い、教職実践開発専攻にあっては46単位以上を修得することとし、心理発達支援専攻、カリキュラム開発専攻及び教科教育専攻にあっては30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

教職実践開発専攻にあっては教職修士（専門職）の学位を、心理発達支援専攻、カリキュラム開発専攻及び教科教育専攻にあっては修士（教育学）の学位を授与する。

修了に必要な最低修得単位数

科目区分		専攻コース	教職実践開発専攻			
		学校改善コース	授業開発コース	教育臨床実践コース	特別支援学校コース	
必修科目	専攻共通科目	20単位				
	学校教育臨床実習	10単位				
	特別支援学校臨床実習				10単位	
	各コース開発実践報告	2単位	2単位	2単位	2単位	
選択科目	学校改善に関する科目	8単位				
	授業開発に関する科目		8単位			
	教育臨床に関する科目			8単位		
	特別支援教育に関する科目				8単位	
	自由選択科目	6単位	6単位	6単位	6単位	
合計		46単位	46単位	46単位	46単位	

科目区分		専攻	心理発達支援専攻	カリキュラム開発専攻	教科教育専攻
必修科目	研究科共通科目		4単位	4単位	4単位
	各専修課題研究		6単位	6単位	6単位
選択科目	臨床心理学に関する科目		16単位		
	学校心理学に関する科目				
	特別支援教育に関する科目				
	カリキュラム開発に関する科目			16単位	
	教科教育及び教科内容に関する科目				16単位
	自由選択科目		4単位	4単位	4単位
合計			30単位	30単位	30単位

III 研究科の授業科目

開講科目及び科目の概要は、教育学研究科ホームページに掲載してあります。

遠隔授業により開講する授業科目については、下記Webページを参照してください。

岐阜大学大学院教育学研究科インターネット型遠隔教育：

<http://www.ed.gifu-u.ac.jp/~kyoiku/eee/>

IV 修士論文題目例

岐阜大学大学院教育学研究科の修士論文題目（例）

1 心理発達支援専攻

※新設につき修了生未輩出

2 カリキュラム開発専攻

専 修	論 文 題 目
カリキュラム 開 発 専 修	<p>学級担任による小学校英語活動を支える運営組織 - 自治体レベルでの取組み -</p> <p>算数学習と総合的な学習の時間の融合をめざすカリキュラム開発</p> <p>ポピュラー音楽の教材としての意義と可能性 - 音楽科教科書の考察 -</p> <p>小学校生活科における飼育体験による「知的な気づき」の生成過程に関する研究 - グラウンデッド・セオリー・アプローチによる仮説モデルの生成 -</p> <p>地域の技術を題材とした中学校技術科における技術習得型教材開発 - 岐阜県飛騨地方における木材加工技術「千鳥格子」の教材化 -</p> <p>中学校数学科の授業におけるデジタルコンテンツの利用の効果 - 図形領域の学習過程と授業設計過程におけるデジタルコンテンツの機能と評価 -</p> <p>情報発信に関する権利と義務を基盤とした小学校における情報モラル教材の開発 - 権利と義務の意識化とチェックリストを組み込んだ教材の開発と試行 -</p> <p>小学校理科・算数の学習における「身近な事象」を用いた授業構成に関する研究 - 科学的概念の形成とその拡張を図るための事例を用いた指導法の検討 -</p> <p>栄養サポートに必要なスキル習得のための実践的な教育方法についての検討</p> <p>学校教育における埋蔵文化財の活用に関する研究</p> <p>現職教師の「働く場」と「研究室」をつなぐ遠隔教員研修コースの設計と開発 - 現職教師の「働く場」の特質を考慮した課題構成とインタラクション -</p> <p>専門学科「情報科」における教育のあり方 - 情報処理教育の取り組みを生かして -</p> <p>中学校数学科における現実場面を扱った教材の特性に関する研究 - 学習指導過程と数学化の過程に基づく教材の分析と開発 -</p> <p>中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習指導法の開発</p> <p>実践場面のビデオ映像を利用した授業改善の方法に関する研究 - 省察活動による継続的な授業改善のためのビデオ映像の利用法の検討 -</p> <p>「人との自然のかかわり」を基盤とする棚田を素材とした環境教育教材の開発 - 小学校総合的な学習の時間における地域参与型教材の開発と評価 -</p> <p>学校教育における主体的学習を支援するツールとしてのデジタルコンテンツの開発と評価 - メディア・リテラシー教育を単元事例として -</p> <p>専門高校における資格試験の学習方略を組み込んだ学習指導の設計と試行 - 資格試験問題データベースの開発とノートテイキングを基盤とした授業設計 -</p>

3 教科教育専攻

専 修	論 文 題 目
国語教育専修	説明的文章の指導の研究 樋口一葉研究 現代作文教育研究 平家物語の研究 国語科における音声言語能力の育成に関する研究 物語教材の読みの指導の研究
社会科教育専修	ミャンマーと日本における社会科教育の比較考察とそれに基づくカリキュラム試案 高校生の世界認識の現状 －手描き世界地図調査・世界各国の既得知識調査より－ 戦後日本中世史研究のあゆみ 高校教育における日本史認識と学習指導要領の変遷 －評価と関連づけて－ 教育的機能をにやう福祉NPOと地域社会の形成 地域における文化財・文化遺産の活用 －埋蔵文化財を中心として－ 日本近代化への視点 －近世とアジアとの関係－ 小学校社会科における地名教育とその効果 中学校地理的分野における事例学習としての地域選択 小中学校における体験活動の発展と意義 －岐阜県を中心に－
数学教育専修	「数と計算」領域における基礎的・基本的な内容の習熟と活用に関する考察 算数・数学教育における和算の活用 算数的・数学的活動の有効性に関する実践と提案 図形領域における教材の提案とその実践 中学校数学に関わる数学的内容の研究と教材開発 規則性に基づいた事象の理解をうながす教材開発 非線形偏微分方程式の近似解法の理論とその応用 「長さ・面積・体積」に関わる教材開発とその実践 身近な題材を用いた高等学校数学の教材研究とその実践 高等学校における数学的活動に関する一考察 関数空間及びその上の作用素についての研究 数理的処理の良さを体感できる授業を目指して

専 修	論 文 題 目
理科教育専修	<p>A review of QED 重ストレンジネス核の研究 量子力学における観測問題について 理科教育における子どもの動機づけに関する研究 高校物理 I B の光波単元における生徒の創造性を支援する授業方法の研究 －生きる力と問題解決能力をいかに身につけさせるか－ ジアザシクロヘキサシアン骨格を有するネオニコチノイド系化合物の合成と昆虫神経活性薬理活性物質の合成および構造と活性の研究 β - アルコキシアルケニルリチウムを用いた、アルデヒドおよびケトンのオレフィン化反応に関する研究 岐阜県の水草のフローラ リングの S 遺伝子型と自家不和合性 胎生硬骨魚カダヤシの卵黄形成と卵黄蛋白に関する研究 Cardiocondyla 属アリ類における繁殖生態学的研究 植物バイオテクノロジーの教材化 原生代後期の縞状炭酸塩岩に見られるカルサイト・ドロマイトサイクル 軟体動物硬組織の成長縞観察手法の検討とその応用 地下水ラドン濃度変化の研究</p>
音楽教育専修	<p>豊かな情操を育成するための音楽教育における異文化理解からのアプローチ －「諸民族の音楽」の学習を通して多面的価値観を形成することを中心に－ 幼稚園教育における音楽のあり方に関する一考察 －調査を通してみた自由・設定保育の間における音楽のあり方－ 小学校における「共に学ぶ」音楽教育に関する一考察 －健常児と障害児による交流授業から－ ジャズを用いた音楽科教育の可能性について －日本の中学校を中心にして－ 「つくって表現する」活動における評価のあり方についての一考察 中学校合唱部における発声指導について －統一された音色と響きを目指した個々の声作り－ 中国と日本の小学校音楽カリキュラムにおける鑑賞学習の比較 児童の音楽的発達にもとづく音楽科カリキュラム構築の試み －「つくって表現する」学習を中心に－ 音楽表現活動における音楽的思考の発展に関する一考察 －「楽譜への書き込み」と「指揮的表現」に着目して－ 日本人の手による明治・大正時代のピアノ独奏曲について フルート演奏におけるハーモニクス奏法の有効性 歌唱における発音について －イタリア語、ドイツ語、日本語による声楽曲を中心に－ シューベルトの歌曲について －「美しき水車小屋の娘」D.795の作品分析－ 歌唱教育における情意面に関する研究 －導入時の楽曲提示方法と子どもの興味・関心に注目して－ F・ショパン バラード第4番 Op.52の運指法 －弟子や近親者の証言と各版の運指に着目して－</p>

専 修	論 文 題 目
美術教育専修	<p>障害児における造形活動の機能及び他者関係から捉えた教育方法 木彫表現の研究</p> <p>－素材・道具・技法と表現の関連性－</p> <p>5歳児の造形表現に見られる特性の研究</p> <p>－幼児の造形表現の意味と個別的な差異の考察－</p> <p>塑造におけるテラコッタの可能性</p> <p>－表面処理からの考察－</p> <p>アルトゥーロ・マルティーニ研究</p> <p>中国近代表現主義の絵画に関する一考察</p> <p>土を用いた造形表現について</p> <p>和紙を支持体とした油画技法研究</p> <p>メディア時代における美術教育のあり方について</p> <p>素材と空間を生かした造形教材に関する研究</p>
保健体育専修	<p>器械運動における映像情報が技の習得に及ぼす影響</p> <p>日本と中国におけるバレーボールの歴史的変遷と現状の比較</p> <p>体育の指導技術に関する研究</p> <p>－発問の技術について－</p> <p>形象による技の認識能力に関する研究</p> <p>－小学校鉄棒運動の場合－</p> <p>剣道強化合宿における抗酸化ビタミン摂取の影響</p> <p>パワートレーニングがテニスプレイヤーの反応時間に及ぼす影響</p> <p>女子高校生の骨量とライフスタイルについて</p> <p>高等学校教科体育の年間計画と生徒の体力との関係に関する研究</p> <p>小学校における表現運動の実践的研究</p> <p>－技能に関する評価表の作成と規準達成のための指導の在り方－</p> <p>地域スポーツクラブの在り方に関する研究</p> <p>－岐阜県内の総合型地域スポーツクラブに着目して－</p>
家政教育専修	<p>中等教育における被服制作についての考察</p> <p>－型紙に関する指導内容と活用実態を通して－</p> <p>身近な発酵食品の機能性と微生物との関わりについて</p> <p>起居様式の構造に関する研究</p> <p>中学校・家庭科における環境教育に関する研究</p> <p>ポリオキシエチレン系界面活性剤存在下における陽イオン界面活性剤の髪毛への吸着に関する研究</p> <p>学校における新しい生活指標を用いた新しい消費者教育</p> <p>CADによる試作住宅の設計</p> <p>栄養に関する指導法の開発</p>

専 修	論 文 題 目
技術教育専修	<p>中学校技術・家庭科における生活とのかかわりに関する研究</p> <p>プログラム言語と計測・制御の教材開発と実践に関する研究</p> <p>中学校技術・家庭科における木によるものづくり教材の開発</p> <p>ものづくりと木質材料</p> <p>エネルギー教育に関する研究</p> <p>技術教育におけるものづくり教育と発達段階を考慮した課外活動に関する研究</p> <p>中学校技術・家庭科における創造性と情報教育に関する研究</p> <p>情報教育における小学校と中学校の関連に関する研究</p> <p>情報活用能力を到達度目標とした情報教育の教科内容に関する研究</p> <p>コンピューターを用いた計測・制御学習教材の開発</p> <p>PC-UNIXを用いたネットワークサーバー構築支援システムの開発とその評価</p> <p>技術科教育における達成度目標と自己教育力との関連に関する研究</p> <p>施削加工に関する研究</p> <p>遺伝的アルゴリズムを用いた画像認識に関する研究</p> <p>技術科における情報教育のあり方</p>
英語教育専修	<p>On Some Aspects of Ambiguous Sentences in English</p> <p>The Influence of Taoism upon Oscar Wilde</p> <p>In What Kind of Topics Do Students Show Interest?</p> <p>A Study of the Images of Women in James Joyce's <u>Dubliners</u></p> <p>A Base Rule of Prepositional Phrases in English and Vietnamese</p> <p>Analysis of Aspectual Expressions of Japanese and English in terms of VP-shells</p> <p>A Study of the Aspects of Adolescence in James Joyce's <u>Dubliners</u></p> <p>A Comparative Study of Syntactic and Semantic Structures between Japanese and Chinese</p> <p>On the "Auxiliary" Functions of the Verbs in English Sequential Verb Phrases</p> <p>English Sentence-Adverbials: Subclassifications and Distributions</p> <p>On Some Types of Sentences and Illocutionary Forces</p>

V 教育職員免許状

本研究科で取得できる免許状の種類は次のとおりである。ただし、専修免許状の資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校及び高等学校教諭専修免許状については、その教科）の一種免許状を有することが必要である。

専攻	コース・専修	取得できる専修免許状	
		種類	教科又は特別支援領域
教育実践 開発専攻	学校改善コース 授業開発コース 教育臨床実践コース	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 職業, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教
		高等学校教諭専修免許状	国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 保健, 看護, 家庭, 農業, 工業, 商業, 水産, 商船, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教, 情報, 福祉
		養護教諭専修免許状	
	特別支援学校コース	特別支援学校教諭専修免許状	知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者
心理発達 支援専攻	臨床心理学コース 学校心理学コース	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 職業, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教
		高等学校教諭専修免許状	国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 保健, 看護, 家庭, 農業, 工業, 商業, 水産, 商船, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教, 情報, 福祉
	特別支援教育コース	特別支援学校教諭専修免許状	知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者
カリキュラム 開発専攻	カリキュラム 開発専修	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語
		高等学校教諭専修免許状	国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 情報, 工業, 英語
教科教育専攻	国語教育専修	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語
		高等学校教諭専修免許状	国語
	社会科教育専修	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史, 公民
	数学教育専修	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	数学
	理科教育専修	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科
	音楽教育専修	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	音楽
	美術教育専修	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	美術
	保健体育専修	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	保健体育
	技術教育専修	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	技術
高等学校教諭専修免許状		工業	
家政教育専修	小学校教諭専修免許状		
	中学校教諭専修免許状	家庭	
	高等学校教諭専修免許状	家庭	
英語教育専修	中学校教諭専修免許状	英語	
	高等学校教諭専修免許状	英語	